

地域再生計画（道整備交付金）事後評価調査

都道府県名	徳島県	事業実施主体	徳島県、美馬郡つるぎ町	地域再生計画名	「生きがいのある暮らしと活力ある地域再生計画」
計画期間	平成23年度～平成27年度	評価責任者	つるぎ町企画課長		

	指標	基準値		中間目標値			最終目標値		事後評価	最終目標値の実現状況に関する評価		
		基準年度		年度	中間実績	基準年度	最終実績					
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標 1	つるぎ町への観光入れ込み客数の増加	6万2千人	H21	6万3千人	H25	6万8千人	6万5千人	H27	6万5千人(H27)	○	林道整備やそれに通じる町道整備、農業・生産体験などを通じて食育を推進する事業などの施策の効果により、目標を達成した。
	指標 2	コミュニティバス運行時間の短縮	28分～34分	H21	1分～3分の短縮	H25	27分～32分	1分～5分の短縮	H27	25分～30分	○	町道及び林道の整備によりコミュニティバス走行による安全性が確保された区間ができたため、目標値を達成できた。
	指標 3	コミュニティバス利用者数の増加	3.7人/日	H21	3.8人/日	H25	7.5人/日	4.0人/日	H27	4.0人/日	○	町道及び林道の整備によりコミュニティバス走行による安全性が確保された区間ができたため、運行の範囲が広がり目標値を達成できた。
	指標 4	効率的な森林整備の実施	253ha	H19～H21平均	263ha	H22～H24平均	402ha	279ha	H22～H26平均	321ha	○	林道及び広域農道の整備による効果により、間伐などの効率的な森林の整備が実施された結果、目標を越えて達成できた。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標 1											
	指標 2											

③事業の進捗状況	事業名	整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価
		計画	中間年度(H25)	最終実績	
特別措置を適用して行う事業	町道整備事業（整備延長）	1.45km	1.14km	1.62km	今回の整備により観光入れ込み客数の増加や、コミュニティバス運行時間の短縮および利用者数の増加につながったと考えている。一方、さらに安定した職場不足解消のための企業誘致や災害時の避難路や迂回路としての機能、コミュニティバスの利便性の向上などを行うため、アクセス改善を図る必要がある。町道の拡幅などさらに事業を行う必要がある。
	広域農道整備事業（整備延長）	0.83km	0.65km	0.95km	今回の整備により農林産物搬出の効率化が図られたほか、道路網をネットワーク化することにより、災害時の避難路・迂回路としての機能もある程度整備できたと考えている。今後も引き続き事業を実施し、地域農業の活性化や地域住民の安全・安心につなげるため、更なるネットワーク化の構築が必要となっているため、広域農道の開設事業を行う必要がある。
	林道整備事業（整備延長）	7.78km	5.58km	6.57km	整備が滞った年に年度間調整を行い事業を推進してきたが、計画の84.4%の実績となった。しかしながら、林道整備により今まで森林施策が困難であった地域について充実した森林へのアクセス改善が図られた結果、間伐実施面積の増となった。今後は、搬出間伐等の増加により、木材生産量の需要が見込まれるため、引き続き事業実施を行いたい。
その他の事業	コミュニティバスによる地域交通の利便性の向上	地域の需要に即した乗合運行サービス提供の実施。			高齢者率の高い山間部の集落では自動車などの移動手段を持ってない住民が多く、コミュニティバスの運行は必要不可欠となっている。今後は人口の減少等により利用率が下がることが予想されるなか、利用率維持を目標として利用者の安全性確保と更なる利便性の向上に取り組む。
	森林環境保全整備事業の実施	自然環境の保全と間伐材を利用した新たな製品の供給による所得向上と新たな雇用の創出			これまで、下草刈りや間伐などの手入れを行い、豊かな森林を育て自然環境の保全等を行ってきたが、町内で稼働するテップ工場や今後、木材素材の需要増加が見込まれるため、搬出間伐や皆伐、皆伐後の楠林などに取組む。
	雇用の促進、住環境の整備	企業誘致と若者定住確保の実施			小北工業団地への企業誘致を行い安定した雇用を確保し若者定住住宅促進事業として宅地の確保を行ってきた。今後は工業団地東側にも約2haの土地があり、更なる企業誘致を進める。
	農業・生産体験などを通じて食育を推進	農産物の生産～食育の推進			町内の農業体験者やボランティアの協力得て種まきから収穫までの田植え体験や農園体験、調理・料理体験を行ってきた。急傾斜地農業の歴史文化を体験・発信しながら地元産ならではの食材を通じての食育を図る。
	保険・福祉・医療の連携	町立病院、保健福祉総合施設との連携医療と一人暮らし高齢者見守り安心事業の実施			急速な高齢化とともに新たな医療ニーズ増大により町立病院と保健福祉総合施設、保健センターとの連携による在宅医療の提供を行った。地域住民による自発的な共同企画運営による「いきいきサロン活動」も各集落で行われている。高齢者が安心して暮らしているため一人暮らし高齢者見守り安心事業などを展開する。
計画外で独自に実施した事業					

④評価方法 つるぎ町地域公共交通活性化協議会にて評価・検討等を行い結果を決定した。

⑤事後評価の公表方法 徳島県・つるぎ町のホームページに掲載。

⑥計画全体の総合評価 本地域再生計画では、道整備交付金を活用した町道整備と広域農道整備、林道整備を一体的に実施し、町道整備では順調に実施できたため計画通りの整備量となり、観光入れ込み客数の増加や、コミュニティバス運行時間の短縮および利用者数の増加につながったと考えている。広域農道整備では、農林産物搬出の効率化が図られたほか、道路網をネットワーク化することにより、災害時の避難路・迂回路としての機能もある程度整備できたと考えている。林道整備においては、整備が滞った年に年度間調整を行い事業を推進してきたが、計画の84.4%の実績となった。しかしながら、今まで森林施策が困難であった地域について充実した森林へのアクセス改善が図られた結果、間伐実施面積の増となった。

⑦今後の方針等 本地域再生計画においては、計画通り町道及び広域農道、林道の整備が進捗していることから、観光入れ込み客数の増加やコミュニティバスの利便性の向上、効率的な森林整備の実施等も含め事業効果はあったものと考えている。次期地域再生計画においても、さらなる観光振興を図るために、年間観光入込客数の増加や「にし阿波～剣山吉野川観光圏」を結ぶ近隣市間、町内地区間のアクセス改善に向けて林道を整備するとともに、市間、地区間を越えた災害時の避難路としても備えることができると考えている。効率的な森林整備を実施し、木材素材生産量を増やすため更なる林道の開設を進める。山間部の高齢者等にとって必要不可欠なコミュニティバスの利用者数を維持するため、町道及び広域農道、林道の整備を進め、地域住民の安心・安全を確保する。一方、都市農村共生・対流総合対策交付金事業で世界農業遺産登録へ向けた取組を推進し、つるぎ町が行う体験・体感できる観光を促進し地域独自の農業文化を伝承するとともに観光のPRを推進する。森林施設集約化支援交付金事業、森林整備加速化・林業再生事業と連携し、効率的な森林整備を実施し木材素材生産量の増を目指す。また、林道整備事業において計画整備延長の84.4%の達成となっているため、今後適切な事業の実施に努めてまいりたい。